2024 年度（春学期）
Pacific International Academy（アメリカ）

M.K.（社会システム学科・２年次生）

Ⅰ．留学レポート

① 留学を目指した理由

中学生の頃から英語を現地で文化や環境と共に学びたいという思いから留学に興味を持っていました。それに加え、私の周囲には国際的な人が多く、ハーフや海外の高校へ進学した友人、また英会話教室の先生などから様々な場面で海外の話を聞いたことも、私の海外志向や留学への興味を増進させた要因です。私の中学には二週間程度の短期留学制度がありましたが、部活動の理由から参加することができませんでした。が、着実に語学力を向上させたいという思いから長期留学を志していたため、大学生活での実現を目指しました。大学入学後、国際課で留学資料を持ち帰り留学制度を知り、自分に合うものを見極め、このセメスター語学留学が適していると考え、このプログラムを選びました。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学が決定してから現地で少しでも沢山のことを吸収できるよう、日常生活で使うフレーズ集を勉強しました。また、リスニングとスピーキングは自分の苦手分野であったため、大学のチャットルームを利用し、週に一度は英語で会話をしました。学外でも英会話教室に通いました。その教室はマンツーマンで自分の取り組みたいことについて学ぶことができたため、アメリカ留学のための会話やフレーズなどを学びました。ビザの申請は代理の会社に資料等を用意していただいたため、実際に大使館に行って面接をするだけでした。面接はとても緊張していましたが、学生ビザであったため、質問は軽くすぐに通ることができました。荷物の準備においては何がどのくらい必要なのか分からず、とても難しかったので留学経験のある先輩に尋ねるなどして大きなキャリーケースを二つ用意しました。準備をしていくにつれて不安も募りましたが、現地のきれいな景色やアクティビティなどを調べ、楽しみを見つけながら過ごしました。

③ 現地到着後

現地到着後はあらかじめオプションで追加していた空港送迎を利用し、校長先生のウェルカムボードを目印に合流しました。その後は、ホストファミリーと会い、家に向かいました。到着からオリエンテーションまで二日間あり、その時間は家で長時間フライトの疲れを取りながら英語学習をしました。オリエンテーションでは同じタームから入学する日本人を含むさまざまな国から来た人と出会い、一人で入国した私はとても安心しました。授業は 4 つのクラスと 5 つのレベルに分かれていたため、その日はクラス分けテストを受け、テスト終了後は現地での生活において必要なものや知識を学びました。この説明には現地の日本人サポーターの先生が付いていてくれていて、英語が分からないときは翻訳をしてくれました。車を持たない人はバス通学であるため、専用のアプリやカードの使用方法やホームシックなどの留学においてよくある症状の説明も受けました。これらはのちにとても役に立ちました。私はあらかじめその日までにバスカードを購入していましたが、まだ持っていない人のためにオリエンテーション終了後、先生が車で連れて行ってくれていて、この学校の先生のサポートの手厚さを感じました。

④ 語学研修機関

a. 施設・環境・スタッフ

私は 2 ターム滞在しましたが、ターム間で学校の場所が変わりました。初めの 2 か月は小さな大学に併設された学校でした。教室は綺麗でしたが、建設されてから年月は経っている様子でした。大学に併設されていたキャンパスですが、大学との関りは特にありませんでした。また、私の参加した時期は現地の夏休みであったため、人がとても少なかったです。PIA のサポートスタッフはとても親切で、小さい空間を利用して昼は皆がカフェテリアに集まり、私たちの様子を気に掛けてくれました。ピザやお菓子などを買ってきてくれた日もありました。2 つ目のキャンパスは大きい大学に併設されていました。キャンパスの大きさ、建物の数が何倍にもなったため、生徒と先生が集まる機会が格段に減りました。しかし、クラスルームは 5 レベルとも近かったため、以前より休憩時間に他クラスの友人とコミュニケーションを取ることができるようになりました。また、私は 1 タームしか滞在しなかったため叶いませんでしたが、大学のサークルに一緒に入り活動することができるそうです。以前より大学での交流が増えると思います。設備等はどちらも困らず清掃員さんも定期的に掃除してくださったため、綺麗な環境で学習することができました。

b. 授業内容、課題、試験

授業は 1 つ当たり約 2 時間ですが休憩もあり、そこまで長く感じることはありません。内容は教科書に基づいてリーディング、グラマー、ライティング、スピーキング＆リスニングの計 4 つの授業を受けます。先生によって進め方は様々ですが、ペアワークやプレゼンテーションもありました。基本、どのクラスでも宿題が課されます。宿題の量は先生によって異なり、中には大量の宿題を出す先生もいましたが、こなせる程度でした。試験前には問題の概要を伝えてくれるので、それに基づいて勉強しました。プレゼンがあるスピーキングの授業はテーマを教えてくれるので、ときにはパワーポイントを使いながら考えました。授業の内容は日本で学ばないような視点から教わることができて、とても面白かったです。

c. サービスラーニング・コミュニティサービス（PIA のみ）

私はコミュニティサービスを受講していました。この授業は 1 ターム目の通常の授業に加え、授業がない毎週金曜日に 2 ターム目から始まるボランティアの事前授業がありました。私が参加した時期のコミュニティサービス受講者は私のみであったため、毎週マンツーマンで心細さや寂しさを感じていましたが、マンツーマンであることで私にあった授業や質問をしやすい環境を作ってくださり、乗り越えることができました。事前学習の終盤ではアメリカの文化や、ステレオタイプなど、とても学べる内容の授業を受けることができました。事前授業を基に数ある中からボランティア先を決めました。沢山のボランティアの方と一緒に活動するため、友人もできました。時にはお客様の中にボランティアをしている私への感謝を述べてくださる方もいてとてもうれしい気持ちになりました。最後はボランティア担当スタッフから手紙や餞別品をいただきました。私は他にも単発のボランティアに参加していましたが、これは珍しいケースだそうです。しかし、様々な活動に参加して沢山の経験を得ることができました。このコミュニティサービスの授業を取ることはとてもお勧めできます。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

私はコミュニティサービスによりボランティアを沢山していたため、授業外で参加したボランティアはあまりありませんが、私のホストマザーが保育園を経営していたため、時々手伝いに行きました。課外活動としては、PIA が様々なアクティビティを計画してくださり、観光名所の滝やショッピング、シアトル旅行などに連れて行ってくれました。これらはお金を払うと参加することができます。車のない私たちが自力では行きにくいところに連れて行ってくれるため、とても良い思い出になりました。

⑥ 現地での住まいについて

ホームステイ先はとても大きな家に 70 代のご夫婦と 30 代の息子が住んでいました。食事はシンプルなアメリカンなもので、ステイ先の中でもおいしい家だと言われていましたが、一日に会話はほとんどなく、ホストファザーはテレビルームに一人でいるため、ほとんど関わりませんでした。また、文化の違いを大きく感じ、ホームステイ先を変えることにしました。校長が親身に対応してくれましたがステイ先が埋まっていたため、1 か月ほど待っての移動になりました。移動後は初めてホストしてくださった家であってとても良い家で、マザーとも 16 歳のホストシスターともとても良い関係を築くことができ、一緒に映画を見ることや、時には出かけるなどして沢山の時間を共有することができました。ご飯もとてもおいしかったです。最後にはファミリーで旅行に連れて行っていただき、とても良い思い出を作ることができました。通学時間はどちらの家も一時間ほどだったため、その時間を利用して宿題をしていました。最初の家はコミュニケーションを求めていた私には合わなかったですが、次に滞在した私の友人は干渉されない生活でとても満足している様子でした。そのため、ホームステイ先に何を求めるか、事前アンケートで書くことをお勧めします。

⑦ 長期休暇の過ごし方

長期休暇は一度、ターム間で二週間ありました。私はコミュニティサービスの授業で登校日があったため、他の人より休みは少なかったですが、充実した時間を過ごすことができました。その時期はホームステイ移動直後であったため、新しいホストファミリーとの時間を楽しんだり、学校の友人と出かけたりして過ごしました。また、現地でできた友人にハイキングに連れて行ってもらうなど、英語でのコミュニケーションの場を作ることもできました。学校の日本人サポーターの先生にブルーベリーピッキングにも連れて行ってもらいました。旅行にはいかなかったものの、ポートランドの生活を楽しむことができ、充実した休暇でした。

II．留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

私が留学中に最も思い出に残っていることは最後のホストファミリーとの旅行です。学校生活や日々の休日ももちろん思い出深いですが、ホストファミリーとの最後の時間はとても思い出深いです。5 人で一つの家を借り、二泊三日でビーチへ旅行に行きました。ビーチは公共交通機関では行くことができず、私がアメリカ生活で行き残した場所だったので、ホストファミリーが計画してくれました。皆で見た日

の入りはとてもきれいでした。家の中ではゲームをしたり、ご飯を作ったりして楽しい時間を過ごしました。とても広い空間で、非日常を楽しむことができました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

留学中につらかったことはカルチャーショックに陥ったことです。カルチャーショックは日々の小さな日本との違いが気になり、不快に感じてしまう症状です。これらは自分自身では気づくことができないため、初めは自分がアメリカでの生活に不向きなのではないかという後ろ向きの気持ちになりました。しかし学校の先生に相談し、この症状がカルチャーショックだということに気がつくと同時に、これが自覚を持つことで解消される症状であることも学び、最終的にはアメリカの文化をとても好きになることができました。最も苦労したことはやはり言語の壁です。絶対に伝えたいことが上手く伝わらなかったり、日本にしかないニュアンスを伝えようとしたときになかなかうまく伝えることができなかったりしました。慣れるまでは翻訳機を使って、出てきた英語を見せるのではなく、読んで伝えると良いと思います。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

アメリカ人は日本人と比べてとても距離が近く、フレンドリーです。初対面同士が楽しそうに会話している様子を何回も見かけました。また、私自身がバスで出会った初対面の人に話しかけられ、服装をほめられたこともあります。日本人が電車で隣になった人と会話するというのはとても稀な光景ですが、アメリカではそれが日常茶飯事に行われていて、温かい空間でした。

Ⅲ．留学希望者へのアドバイス

① 日本から持っていって、特に役に立ったもの

私はパソコンとタブレットを持って行きましたたが、どちらもあまり使いませんでした。パソコンは大学に送る月報を入力する際などに使用しましたが、授業で必要なことはプレゼンで作ったパワーポイント程度でした。タブレットは電子書籍で英語学習をする際に使用しましたが、他の用途は特にありませんでした。持って行くと便利なものは、保冷バッグと保冷材です。夏の暑い季節に留学に行ったため、持参した保冷グッズがとても役に立ちました。日本の真夏ぐらいの暑さは本当に短期間で少し肌寒い日も多いため、なにか羽織るものがあると便利だと思います。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

留学の成果としてはさまざまなものが挙げられます。まず、語学力の向上です。留学前後で TOEIC を受験したところ合計 200 点以上点数アップすることができました。自分の学習の成果が数字で現れ、とてもうれしかったです。また、留学は一人で異国に行き生活をするため、忍耐力や自信が付きました。留学前は、自分に自信がなく、英語力にも不安があったため海外の方と話す機会があってもあまり話すことができませんでしたが、留学を通してその自信をつけることができました。帰国後はアルバイト先であるインバウンド向けのレストランで、積極的に英語で会話しています。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は一人で異国に行くという不安が沢山あると思いますが。到着してみるとそこはすべてが物珍しく、毎日が新しい充実した空間です。時にはもちろんつらいことや寂しい時もありますが、それよりも新たな経験や新しい世界への驚きと楽しさが大きいです。今、留学するか迷っているなら、大学生という時間に余裕があるときにぜひチャレンジしてみてください。きっと人生の宝物になります。また、留学を決意し、決まった後は日本でできる英語学習や現地の景色や施設を見て気持ちを高めておくことをおすすめします。

Ⅳ．将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

私は将来の進路がはっきり決まっているわけではないですが、今興味のあるマーケティングの分野に進みたいと考えています。その中で、この留学で培った語学力はどこかで活用したいです。また、大学生活中に TOEIC800 点の取得を目指しています。

Ⅴ．写真



この写真は PIA の生徒が集まり、10 人以上のサウジアラビア人の生徒がまとめてタームの途中で帰国したため、お別れ会をしたときのものです。ピザやお菓子を食べながらゲームや会話を楽しみました。UNO は世界共通のゲームでしたが、少しずつルールが違ってそれも面白かったです。お世話になったクラスメイトと最後に楽しい時間を過ごすことができました。



これは最後にホストファミリーが連れて行ってくれたビーチ旅行の写真です。隣にいるのはホストシスターです。砂に日付などを落書きし、写真を撮りました。とても充実した三日間で、みんなでゲームをしたり、料理を作ったりするなど、様々なことをしながら、最後の大きな思い出を作ることができました。